

第 1 回 館山市議会定例会会議録  
(第 6 号)



1 昭和60年3月23日(土曜日)午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 26名

1 番 神田 守隆  
3 番 山中金治郎  
5 番 川名 正二  
7 番 榎本 春光  
9 番 福原 勤  
11 番 飯田 義男  
13 番 石井 昌治  
15 番 渡辺 昭夫  
17 番 近藤 好雄  
21 番 吉田男治郎  
23 番 伊賀 多朗  
25 番 五十嵐 昇  
27 番 安西 益男

2 番 田沢 勝信  
4 番 日下 君敏  
6 番 生稲 隆  
8 番 小宮 利夫  
10 番 横溝 功  
12 番 石井 謀  
14 番 伊藤幸太郎  
16 番 松下 正己  
19 番 黒川 平治  
22 番 林 豊  
24 番 流山源次郎  
26 番 石井 正  
28 番 安澤 徳順

1 欠席議員 1名

20 番 石井 武敏

1 出席説明員

市長 半澤 良一  
収入役 山田 俊康  
総務部長 川畑喜代志  
経済部長 吉岡 政雄  
教育委員会委員長 杉村 芳枝  
選挙管理委員会委員長 宮澤 茂  
監査事務局長 岩城 昭  
農業委員会事務局長 庄司 徹

助役 小倉 澄男  
市長公室長 斉藤 武男  
民生部長 鈴木 力  
水道課長 石井 敏夫  
教育委員会教育長 福原 修  
選挙管理委員会事務局書記長 庄司 利光  
農業委員会会長 斉藤 明

1 出席事務局職員

第1号に同じ

1 議事日程(第6号)

昭和60年3月23日午前10時開議

- |       |   |           |   |
|-------|---|-----------|---|
| 日程第 1 | { | 議案第 1 0 号 | 国民健康保険山武郡南病院組合を千葉縣市町村公平委員会の共同設置団体から除くこと及び千葉縣市町村公平委員会共同設置規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について |
|       |   | 議案第 1 1 号 | 非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について                                      |
|       |   | 議案第 1 2 号 | 館山市市税条例の一部を改正する条例の制定について  |
|       |   | 議案第 1 3 号 | 字の区域及び名称の変更について   |
|       |   | 議案第 1 9 号 | 昭和 5 9 年度館山市一般会計補正予算 (第 5 号)  |
| 日程第 2 | { | 議案第 1 4 号 | 館山市教育兼務職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について  |
|       |   | 議案第 1 5 号 | 館山市消防団条例の一部を改正する条例の制定について   |
|       |   | 議案第 2 0 号 | 昭和 5 9 年度館山市国民健康保険特別会計補正予算 (第 4 号)  |
|       |   | 議案第 2 1 号 | 昭和 5 9 年度館山市老人保健特別会計補正予算 (第 2 号)  |
| 日程第 3 | { | 議案第 1 6 号 | 館山市洲崎御手洗山治山事業分担金徴収条例の制定について   |
|       |   | 議案第 1 7 号 | 農作物冷害対策経営資金利子補給及び損失補償の負担に関する条例を廃止する条例の制定について                                      |
|       |   | 議案第 1 8 号 | 館山市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について  |
|       |   | 議案第 2 2 号 | 昭和 5 9 年度館山市水道事業特別会計補正予算 (第 1 号)  |

- 日程第4 { 請願第 7 号 国鉄の「分割・民営化」に反対し、国鉄の存続を求める請願書  
陳情第 3 号 土地価格の評価替えによる固定資産税の増税を中止する陳情書
- 日程第5 請願第 1 号 公費負担医療の改善・充実に係る請願書
- 日程第6 請願第 3 号 水道料金の抑制を求める請願書
- 日程第7 { 議案第 1 号 昭和60年度館山市一般会計予算  
議案第 2 号 昭和60年度館山市国民健康保険特別会計予算  
議案第 3 号 昭和60年度館山市老人保健特別会計予算  
議案第 4 号 昭和60年度館山市と畜場特別会計予算  
議案第 5 号 昭和60年度館山市ユースホステル特別会計予算  
議案第 6 号 昭和60年度館山市学童災害共済事業特別会計予算  
議案第 7 号 昭和60年度館山市水道事業特別会計予算  
議案第 8 号 昭和60年度館山市国民宿舎特別会計予算
- 日程第8 議案第23号 館山市固定資産評価審査委員会委員の選任について
- 日程第9 館山市選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙

開 議 午前10時13分

◎議長（石井 正君） 本日の出席議員数25名、これより第1回市議会定例会第6日の会議を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

#### 議案の配付

◎議長（石井 正君） 議案を配付いたします。

議案の配付漏れはありませんか。——配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

#### 議案の上程

◎議長（石井 正君） 日程第1、議案第10号乃至議案第13号及び議案第19号の各議案を一括して議題といたします。

#### 総務委員会委員長報告

◎議長（石井 正君） ただいま議題となりました各議案はともに去る3月11日の本会議において総務委員会に付託されたものであります。

よって、これより各議案に対する総務委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

総務委員会委員長横溝 功君。御登壇願います。

（総務委員会委員長横溝 功君登壇）

◎総務委員会委員長（横溝 功君） 御報告申し上げます。

去る3月11日開会の本会議におきまして総務委員会に付託されました議案第10号乃至議案第13号及び議案第19号につきましては、14日総務委員会を開催し、慎重なる審査をいたしましたところ、いずれも原案どおり可決すべきものと決しました。

以下、審査の経過について主なる事項と結果について御報告申し上げます。

議案第12号館山市市税条例の一部を改正する条例の制定については、まず今回の改正により税金等について大きな変化があるか否かをたどしましたところ、日本専売公社が日本たばこ産業株式会社に改組されることに伴っての条文の改定であり、税金等はほとんど変わりなく、60年度予算も59年度の実績とほぼ同じように計上したとの答弁がありました。

次に、議案第19号昭和59年度館山市一般会計補正予算第5号については、まず老人ホーム収容措置扶助費420万8000円の減額に関連して、入所資格及び個人負担金についてをたどしましたところ、入所資格は、養護老人ホームについては65歳以上の者で身体上、精神上、環境上の理由、また経済的理由によって居宅において養護を受けることが困難な者である旨、特別養護老人ホームについては65歳以上の者で身体上、精神上、著しい欠陥があるために常時の介護を必要とし、また居宅においてこれを受けることが困難である者との答弁がありました。

また、負担金につきましては、養護老人ホームについては入所者は原則

として市民税所得割の非課税世帯が対象で、収入により多少の個人負担がある、また特別養護老人ホームについては入所に所得制限はないが収入により多少の個人負担がある旨の答弁がありました。

次に、扶助費1950万6000円の減額に関連して、生活保護を受ける場合の調査にあたって萎縮感を抱かせないように要望したところ、生活保護法の趣旨を体し、公平に行うとの答弁がありました。

次いで、きちっとした定見をもって調査するよう強く要望をいたしました。

次に、農用地流動化奨励交付金114万円減額の理由についてをたどしましたところ、当初500万円計上しましたが、対象面積の減により交付額386万円となり、その差額を減額する旨の答弁がありました。

さらに、本事業によりどのくらい流動化されたか、また今後の見通しについてをたどしましたところ、56年度から行われており、現在まで69.4％が交付対象になっている、館山市の耕地面積が2500％ぐらいあり、その5％の125％を5年間の達成目標として設定している旨の説明がありました。

次に、関連して、流動化事業を推進していく中で標準小作料についても見直しをする考えはないかをたどしましたところ、年3回見直しを行うことになっており、地主代表、学識経験者、小作代表者で構成する小作料協議会の意見を徴し、さらに県の協議等を得て決定しているとの答弁がありました。

次に、ヒラメ養殖パイロット事業補助金150万円の減額の理由と総事業費について尋ねましたところ、当初県は補助対象事業費3000万円ということで計画したが、その後養殖希望が多く、補助対象を1カ所ふやしたことに伴い補助対象事業費を2700万円としたことによる減額である、なお総事業費は3210万円であり、市の補助金は当初の予定どおり1000万円である旨の答弁がありました。

次に、関連して、建設が計画されている生コン会社の影響はないかをたどしましたところ、騒音、粉じん、汚水等が心配されているが、先日会社側と話し合ったところ密封式の方法をとるのでその心配はないとのことであった、なお地元との話し合いを3月25日以降行うことになっていると

の答弁がありました。

次に、遠距離通学生徒通学費補助金 5 3 万 6 0 0 0 円の増額補正は料金改定によるものだと思うがどうかをたどしましたところ、平均 1 0 . 2 % のバス料金の値上げに伴うものであるとの答弁がありました。

次に、関連して、西岬中学校統合の際、バス通学生徒のために長須賀の停留所に待合所設置の要望があったが、実行されていないのはどうしたのかとたどしましたところ、早速検討を加え中学校生徒に不自由を来さないよう努力するとの答弁がありました。

以上のとおり審査の経過及び結果について御報告申し上げましたが、満場の御賛同を賜りますようお願い申し上げ、委員長報告といたします。

◎議長（石井 正君） 以上で委員長の報告を終わります。

ただいまの委員長報告について御質疑ございませんか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

通告はありませんでした。討論ございませんか。——討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

## 採 決

◎議長（石井 正君） これより採決いたします。

採決は分割して行います。

まず、議案第 1 0 号及び議案第 1 1 号の各議案を一括して採決いたします。

議案第 1 0 号及び議案第 1 1 号についての委員長の報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（石井 正君） 御異議なしと認めます。よって、議案第 1 0 号及び議案第 1 1 号の各議案はいずれも原案どおり可決されました。

続いて、議案第 1 2 号館山市市税条例の一部を改正する条例の制定についてを起立により採決いたします。

本案についての委員長の報告は原案可決であります。



本案を委員長の報告どおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

◎議長(石井 正君) 起立多数であります。よって、議案第12号館山市市税条例の一部を改正する条例の制定については原案どおり可決されました。

次いで、議案第13号及び議案第19号の各議案を一括して採決いたします。

議案第13号及び議案第19号についての委員長の報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(石井 正君) 御異議なしと認めます。よって、議案第13号及び議案第19号の各議案はいずれも原案どおり可決されました。

#### 議案の上程

◎議長(石井 正君) 日程第2、議案第14号、議案第15号、議案第20号、議案第21号の各議案を一括して議題といたします。

#### 文教民生委員会委員長報告

◎議長(石井 正君) ただいま議題となりました各議案はともに去る3月11日の本会議において文教民生委員会に付託されたものであります。

よって、これより各議案に対する文教民生委員会における審査の経過並びに結果につき副委員長の報告を求めます。

文教民生委員会副委員長松下正己君。御登壇願います。

(文教民生委員会副委員長松下正己君登壇)

◎文教民生委員会副委員長(松下正己君) 去る11日開会の本会議におきまして本文教民生委員会に付託されました一般議案2件、補正予算2件につきまして、14日委員会を招集し、慎重なる審査を行いました。

以下、審議いたしました主なる事項並びに結果について、委員長欠席のため、私副委員長がかわりまして御報告申し上げます。

まず、議案第14号館山市教育兼務職員の給与等に関する条例の一部を

改正する条例の制定については、幼稚園園長の兼務手当につきどのような基準で考えておるのか説明を求めましたところ、59年度の国公立幼稚園要覧を参考に、また県下11市の平均が6440円で、館山市を除く安房郡の平均が7550円となっておるので参考にしておると説明がありました。

本案につきましては、全員一致をもって原案どおり可決いたしました。

次に、議案第15号館山市消防団条例の一部を改正する条例の制定については、館山市消防団員報酬は他の地域と比較した場合どのような状況にあるか聞きただしましたところ、県内の市の平均と比較すると当市は20%から30%高いが、安房郡での平均となると10%程度低いと説明がありました。

また、団員の確保について、自営業の者が多く、各町内とも苦勞しておると聞いておるが、その点はどうなのか説明を求めました。確かに地域によっては苦勞されておるようだが、後援会と町内会等で話し合いをもち割り振りを行う中で現在のところ確保はできておると説明がありました。

次に、後援会の会費が地域によっては負担となっており町内役員等がその徴収について困惑しておる話もあるが、これらの問題を踏まえ将来の団運営についてどのようにとらえておるかただしましたところ、現在具体的な計画はないが、消防団の編成等を含め後援会についても前向きな検討をしていきたい旨の答弁がありました。

次に、県操法大会出場経費についてもっと援助すべきであると思うが、現況はどうなっておるのか説明を求めました。市としては操法訓練費、大会出場費等を支出し、援助はしておると説明がありましたので、今後、こと消防については十分なる援助を前向きにとらえ検討するよう要望いたし、本案については全員一致をもって原案どおり可決いたしました。

次に、議案第20号昭和59年度館山市国民健康保険特別会計補正予算第4号については、医療給付費が増加しておるが、本市1人当たりの医療費はどの程度か、また医療費の高い原因をどのように分析しておるか説明を求めました。58年度1人当たり7万8339円で県下28市中4番目、高い原因については老人保健法が施行され、これに該当するものが被保険者の14.3%、また50歳から69歳までが被保険者の31.7%を占

めており、老齡階層が多いことと、受診率が県下2番目に高いことが要因であると説明がありました。

次に、保険税の徴収状況について問いましたところ、2月末現在で徴収率は66.13%、前年対比1.37%減となっておるが、最終見込みとしては当初予算に計上した現年課税分93%は達成可能と考えている、しかし滞納繰越分については当初に予定した20%徴収は困難と考えられる、なお58年度決算での本市の徴収率は82.27%で県下28市中10番目であると説明がありました。

さらに、滞納は増加傾向にあるといわれておるが、整理についてどのような方法で行っておるか説明を求めました。市本税と同様な方法で徴収しているが、一般的には督促、催告、納税相談、戸別徴収等を行い、さらに差し押さえの執行、悪質なものについては公売に処するなど、また徴収強調月間を設け滞納解消に努力しておると説明がありましたので、要望として、徴収は難しく大変なことは重々わかるが、悪質なものもあるので創意工夫をし、さらに十分な努力と配慮を望むと、本案については全員一致をもって原案どおり可決いたしました。

次に、議案第21号昭和59年度老人保健特別会計補正予算第2号については、全員一致をもって原案どおり可決いたしました。

以上、文教民生委員会におきます審査の概要並びに結果について御報告申し上げましたが、満場の皆さまの御賛同を賜りますようお願い申し上げ、委員長報告といたします。

◎議長（石井 正君） 以上で委員長の報告を終わります。

ただいまの委員長報告について御質疑ございませんか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

通告はありませんでした。討論はございませんか。——討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

## 採 決

◎議長（石井 正君） これより議案第14号、議案第15号及び議案第20号、議案第21号の各議案を一括して採決いたします。

議案第14号、議案第15号及び議案第20号、議案第21号についての委員長の報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(石井 正君) 御異議なしと認めます。よって、議案第14号、議案第15号及び議案第20号、議案第21号の各議案はいずれも原案どおり可決されました。

#### 議案の上程

◎議長(石井 正君) 日程第3、議案第16号乃至議案第18号及び議案第22号の各議案を一括して議題といたします。

#### 建設経済委員会委員長報告

◎議長(石井 正君) ただいま議題となりました各議案はともに去る3月11日の本会議において建設経済委員会に付託されたものであります。

よって、これより各議案に対する建設経済委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

建設経済委員会委員長石井 謀君。御登壇願います。

(建設経済委員会委員長石井 謀君登壇)

◎建設経済委員会委員長(石井 謀君) 御報告を申し上げます。

去る3月11日本会議において建設経済委員会に付託されました議案第16号乃至第18号並びに議案第22号について、3月15日委員会を招集し、議案の慎重なる審査を行いました。

結果については、議案第16号及び17号並びに22号については全員一致原案どおり可決すべきものと決しました。議案第18号については賛成多数をもって原案どおり可決すべきものと決しました。

以下、委員会における審査の経過について概要を申し上げます。

議案第16号館山市洲崎御手洗山治山事業分担金徴収条例の制定についてであります。被害状況について説明を求めたところ、58年10月の大雨による崩壊で、被害は約20m、奥行き14m程度、場所は洲崎神社拝殿の裏で洲崎区の共有地である旨の説明がありました。

次に、分担金について説明を求めたところ、工事費は事務費を含めて400万円を予定しておる、そのうち県の補助金が75%、残りの25%の2分の1程度が地元負担となる旨の答弁がありました。

続いて、議案第17号農作物冷害対策経営資金利子補給及び損失補償の負担に関する条例を廃止する条例の制定についてであります、どの程度の該当があったか尋ねたところ、約1000万円程度の融資があった旨の答弁がありました。

また、本条例を廃止して今後このような事態が生じた場合にはどのように対処するかただしたところ、このような条例等については県と連動しており、今後被害の規模等により制度が設けられる可能性があると考えておる旨の答弁がありました。

続いて、議案第18号館山市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定についてであります、まず料金を用途別から口径別に変更した理由について説明を求めたところ、用途別を採用している他市の状況を見てもさまざまな業体別で分類されており、当市の場合用途別とはいっても用途別でない面があった、また口径別の方が料金を計算する上でそのもとになる原価の配賦という点から見ても、また受益の程度によってその積算ができるということで合理的と考え今回変更した旨の答弁があった。

次に、大口消費者の内訳について説明を求めたところ、月500円以上41件、内訳は官公署、学校16件、ホテル、保養所12件、病院3件、デパート3件、工場6件、事務所1件である旨の説明がありました。

次に、資料の中で現行料金と料金改定による財政収支計画の比較では資本的収入の企業債が料金改定の方が少額になっておる、これは料金改定によって運営内容がよくなるためかどうか尋ねたところ、現行では赤字になるので資金的には資本の方に回るべきものが出てこないが、改定すると黒字になるので内部留保資金がふえる、そのために企業債を少なくしても資金運用ができるということである旨の答弁がありました。

次に、内部留保資金は現在どのようになっているか、また今後どのようになっているか尋ねたところ、58年度決算において3億7296万6000円、59年度末3億9227万2000円、60年度には2億6000万円を建設改良事業に充てる予定であり年度末には1億5240万円、

61年度末9673万円、62年度末8110万円と予測される旨の答弁がありました。

続いて、60年度給水収益の内訳についてただしたところ、基本料金7394万9000円、従量料金4億8925万円である旨の答弁がありました。

次に、改定後の一般家庭の料金は他市と比較してどうかただしたところ、口径13mmの1mから17mまでの県水並びに近隣市町村の事業体の料金比較では、全体的に当市より低いのは県水だけで、さらに木更津市の9m以上、鴨川市の8mから11mの間、天津小湊の6m以上を除きすべて当市より高い料金となっている旨の答弁がありました。

続いて、財政収支計画によると62年から赤字になるということで、63年以降にさらに料金改定を行うかどうかただしたところ、料金改定については急激な変化を避けるという意味で従来から3年をサイクルに行ってきた、おそらく3年後にはその時点で財政状況を検討し、もう1度考えるべきだと考えている、今回は55年に改定し58年度には改定すべきところであったが企業努力により経費の節減に努め、その結果5年間経過している旨の答弁がありました。

次に、今回の改定により館山市水道と三芳水道の料金に格差が生じてくることについてどう考えているかについてただしたところ、給水区域、企業規模、給水人口等が異なるので料金体系が違うのはやむを得ないと考えている、しかし同じ市民で事業体によって料金が違うのは市民感情としても納得いかないだろうし、市長の立場としても同じ料金でいきたいと考えているが、55年の改定の際そのときの財政状況や県の高料金対策補助金があるということで同料金で行ったが、今回それがなくなりやむを得ずこのようになった旨の答弁がありました。

続いて、市水道に対し一般会計から繰り出しをする考えはないかただしたところ、館山市の財政力指数が上がってくれば一般会計から繰り出すことができると考えており、絶対にしないということではない旨の答弁がありました。

次に、一般会計からの繰り出しの姿勢をとっていただきたい旨の要望がありました。

続いて、議案第22号昭和59年度館山市水道事業特別会計補正予算の建設改良費の削減について説明を求めたところ、夏季対策として水の需給を円滑にするため、当初犬石から佐野浄水場に至る延長850mの間に口径200mmの管を布設する計画であったが、測量事務等が遅れ、その間に佐野浄水場内に新たな地下水が得られたことに伴って、急速建設改良の事業内容が変更されたことによる県道舗装工事負担金の減額である旨の答弁がありました。

以上で建設経済委員会に付託されました議案について概要を御報告申し上げます。何とぞ満場の御賛同を賜りますようお願い申し上げます、建設経済委員長の報告といたします。

◎議長（石井 正君） 以上で委員長の報告を終わります。

ただいまの委員長報告について御質疑ございませんか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

## 討 論

◎議長（石井 正君） これより討論に入ります。

通告はありませんでした。討論はございませんか。

◎1番（神田守隆君） 議案の第18号館山市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について反対の討論をいたします。

この条例は市民の水道料金を値上げしようとするものでありますが、その原因となっているのは県の高料金対策の水道補助金が基準が改悪され、市への補助金がカットされる、こういう中で出てきた問題であると理解いたします。こうした県の水道事業に対する補助金のカット、このこと自体に大変厳しく抗議するとともに、この県の措置に対しやむを得ないことだとする半澤市長の政治姿勢も批判するものであります。市長は、県に強く働きかけをして、こうした市民生活に直結する水道事業への補助金を復活させるよう求めるものであります。

第2に、現在の市営水道の料金体系は、県との比較で見ましても一般家庭向けには高く、大口使用者向けには安くなっているという問題点がございいます。私は、特に大口の使用者が漏水によって膨大な水の量をむだにしている、こうした実態を放置するわけにはまいりません。大口使用者には

それなりの負担をさしていただいて、一般家庭向けの水道料金を引き下げ乃至は据え置くことは財政的にも十分に可能なことであると考えます。一般家庭向けの水道料金を値下げあるいは据え置き、大口使用者向けの水道料金をそれなりに高くすることを主張いたしまして、私の反対の討論いたします。

○議長（石井 正君） 他に討論ございませんか。——討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

### 採 決

○議長（石井 正君） これより採決いたします。

採決は分割して行います。

まず、議案第16号及び議案第17号について一括して採決いたします。

議案第16号及び議案第17号についての委員長の報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石井 正君） 御異議なしと認めます。よって、議案第16号及び議案第17号の各議案はいずれも原案どおり可決されました。

次いで、議案第18号館山市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について起立により採決いたします。

本案についての委員長の報告は原案可決であります。

本案を委員長の報告どおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

○議長（石井 正君） 起立多数であります。よって、議案第18号館山市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定については原案どおり可決されました。

次いで、議案第22号昭和59年度館山市水道事業特別会計補正予算について採決いたします。

本案についての委員長の報告は原案可決であります。

本案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）



◎議長（石井 正君） 御異議なしと認めます。よって、議案第22号昭和59年度館山市水道事業特別会計補正予算は原案どおり可決されました。

#### 請願書の上程

◎議長（石井 正君） 日程第4、請願第7号及び陳情第3号の請願書及び陳情書を一括して議題といたします。

#### 総務委員会委員長報告

◎議長（石井 正君） ただいま議題となりました請願第7号及び陳情第3号は、ともに去る第4回市議会定例会において継続審査に付されたものであります。

よって、これより請願第7号及び陳情第3号に対する総務委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

総務委員会委員長横溝 功君。御登壇願います。

（総務委員会委員長横溝 功君登壇）

◎総務委員会委員長（横溝 功君） 請願書及び陳情書の審査結果について御報告申し上げます。

去る12月の第4回定例会において本委員会に付託され、継続審査中の請願第7号国鉄の「分割・民営化」に反対し、国鉄の存続を求める請願書及び陳情第3号土地価格の評価替えによる固定資産税の増税を中止する陳情書につきましては、14日招集の委員会において審査いたしました結果、いずれも賛成者がなく不採択にすべきものと決しました。

以上、御報告申し上げます。

◎議長（石井 正君） 以上で委員長の報告を終わります。

ただいまの委員長報告について御質疑ございませんか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

通告はありませんでした。討論はありませんか。——討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（石井 正君） これより採決いたします。

採決は分割して行います。

まず、請願第7号について起立により採決いたします。

請願第7号についての委員長の報告は不採択であります。

請願第7号を委員長の報告どおり不採択と決しますことに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（石井 正君） 起立多数であります。よって、請願第7号は不採択と決しました。

次いで、陳情第3号について起立により採決いたします。

陳情第3号についての委員長の報告は不採択であります。

陳情第3号を委員長の報告どおり不採択と決しますことに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（石井 正君） 起立多数であります。よって、陳情第3号は不採択と決しました。

#### 請願書の上程

◎議長（石井 正君） 日程第5、請願第1号公費負担医療の改善・充実に関する請願書を議題といたします。

#### 文教民生委員会委員長報告

◎議長（石井 正君） ただいま議題となりました請願書は去る3月11日の本会議において文教民生委員会に付託されたものであります。

よって、これより本請願書に対する文教民生委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

文教民生委員会副委員長松下正己君。御登壇願います。

（文教民生委員会副委員長松下正己君登壇）

◎文教民生委員会副委員長（松下正己君） 去る3月11日開会の本会議におきまして本文教民生委員会に付託されました請願第1号公費負担医療の改善・充実に関する請願書について14日委員会を招集し、慎重なる審

査を行いました。その結果について御報告申し上げます。

賛成少数、不採択と決しました。

以上、委員会における結果について御報告申し上げましたが、満場の皆さまの御賛同を賜りますようお願い申し上げ、文教民生委員会委員長報告といたします。

◎議長（石井 正君） 以上で委員長の報告を終わります。

ただいまの委員長報告について御質疑ございませんか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

通告はありませんでした。討論ございませんか。——討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

### 採 決

◎議長（石井 正君） これより採決いたします。

採決は起立により行います。

請願第1号についての委員長の報告は不採択であります。

本請願書を委員長の報告どおり不採択と決しますことに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（石井 正君） 起立多数であります。よって、請願第1号は不採択と決しました。

### 請願書の上程

◎議長（石井 正君） 日程第6、請願第3号水道料金の抑制を求める請願書を議題といたします。

### 建設経済委員会委員長報告

◎議長（石井 正君） ただいま議題となりました請願書は、去る3月11日の本会議において建設経済委員会に付託されたものであります。

よって、これより本請願書に対する建設経済委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

建設経済委員会委員長石井 謀君。御登壇願います。

(建設経済委員会委員長石井 謀君登壇)

◎建設経済委員会委員長(石井 謀君) 請願書の審査結果について御報告を申し上げます。

去る3月11日本会議におきまして本委員会に付託されました請願第3号水道料金の抑制を求める請願書につきましては、15日招集の委員会において審査いたしました結果、不採択すべきものと決しました。

以上、御報告申し上げます。

◎議長(石井 正君) 以上で委員長の報告を終わります。

ただいまの委員長報告について御質疑ございませんか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

通告はありませんでした。討論ございませんか。——討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

#### 採 決

◎議長(石井 正君) これより採決いたします。

採決は起立により行います。

請願第3号についての委員長の報告は不採択であります。

本請願書を委員長の報告どおり不採択と決しますことに賛成の諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

◎議長(石井 正君) 起立多数であります。よって、請願第3号は不採択と決しました。

#### 継続審査について

◎議長(石井 正君) この際、申し上げます。

去る3月11日の本会議において建設経済委員会に付託されました請願第2号農産物の輸入自由化・枠拡大に反対し、国民食糧の安定確保を求める請願書について、委員長から会議規則第75条の規定により閉会中の継続審査とされたい旨の申し出がありました。

お諮りいたします。本請願書を委員長からの申し出のとおり閉会中の継続審査といたしますことに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(石井 正君) 御異議なしと認めます。よって、決定いたしました。

### 議案の上程

◎議長(石井 正君) 日程第7、議案第1号乃至議案第8号昭和60年度館山市一般会計及び各特別会計予算を一括して議題といたします。

### 予算審査特別委員会委員長報告

◎議長(石井 正君) ただいま議題となりました各会計予算は、ともに3月12日の本会議において特別委員会を設置し、付託されたものであります。

よって、これより各会計予算に対する予算審査特別委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

予算審査特別委員会委員長飯田義男君。御登壇願います。

(予算審査特別委員会委員長飯田義男君登壇)

◎予算審査特別委員会委員長(飯田義男君) ただいま議題となりました議案第1号乃至議案第8号昭和60年度館山市一般会計予算並びに特別会計予算に係る予算審査特別委員会におきます審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

去る12日開会の本会議におきまして設置されました本委員会を18日招集し、各会計における予算につき慎重に審査を行いました。

以下、委員会におきます質疑応答等整理いたしまして、その概要を御報告申し上げます。

まず、一般会計歳出であります。

第2款総務費中、総務管理費において産業医報酬が計上されていますが、産業医については法律により毎月巡回することが定められているが、実態は必ずしもそのように行われていない面も見受けられ、また民間の企業においても遵守されていない現状であるので、今後民間企業に率先して市が

規定どおり行っていくよう要望いたしました。

次に、60年度は総合計画策定の年度であり、総合計画策定委託料が計上されておりますが、これについて基本的には内部の職員による手づくりで作業を進めており、21世紀に向けての15年構想であるので専門家の指導も得たいとの考えが示されました。

次に、防災行政無線設置関連経費が計上されており、本会議においても種々質疑が交わされてきておりますが、本委員会においてもさらに詳細に説明を求めましたところ、本市は地形、地質、過去のデータから一番考慮しなければならない災害は地震災害であるとの結論づけをしており、東京湾沿い5m以下、太平洋岸10m以下を津波浸水区域としている、本事業は3カ年継続事業であり、本年度はその津波浸水区域に高さ15m、4方向のスピーカーを付けた屋外受信機37基を、さらに屋内受信機である戸別無線機を自主防災会を中心に市の対策本部関係、学校、関係機関に3カ年で300基、本年度100基の設置を計画しているとの説明がありました。

次に、電子計算機費中、使用料、賃借料が大幅に増額されていることについて説明を求めましたところ、現在入っている汎用コンピューターが業務量の増加に伴って容量が限度となったためレベルアップを予定していることと、OA化の推進を図るためパソコン4台、ワープロ1台を増設し、前年対比約831万円の増額であるとの説明がありました。

次に、コミュニティセンター造成工事請負費が計上されておりますが、この内容について説明を求めましたところ、取得予定地の中で現在まで取得できなかった部分が取得されることに伴っての造成工事を計画しているもので、これが完了することにより5万7343㎡のコミュニティセンター広場となる旨の答弁がありました。さらに、用地の造成に伴って雨水等の排水問題が心配されるので、全体的な排水計画をもって慎重に対処されるよう要望いたしました。

次に、従来から防犯灯新設事業に対する補助金により防犯灯の整備が図られてきておりますが、60年度において計上がされてないことについて説明を求めましたところ、例年、防犯協力会を通じて各地区の要望をもとに年間70灯程度ずつ整備をしてきたが、59年度において防犯協力会と

話し合いを行い、まとめて整備する方針を立て、各地区の要望を全部出していただき160灯程度整備したことにより、一応完了ということで、あとは補完的に防犯協力会の事業予算の中で20灯程度整備していくとの考えが示されました。

次に、納税組合奨励金が計上されておりますが、納税組合の現在の状況、成果及び奨励金の額について現行で適当かどうか説明を求めましたところ、納税組合数は現在200組合あり、その取り扱い税額は58年度において県市民税、固都税、軽自動車税では現年度課税分収入済額の約24.2%、国保税では52%を占めており、納期内納付、自主納税に対する貢献度はあると考えている。奨励金の額については現在県下各市で17番目に位置しており、やむを得ないのではないかと考えている。各市では基準単価を下げる傾向にあり、全体的な見直しはいまのところ考えていないとの説明がありました。

次に、農漁業後継者結婚奨励金が計上されておりますが、この実績について説明を求めましたところ、58年度1組、59年度においては現在まで2組、いずれも農業関係者であり、後継者確保のための補助金であるので対象者の把握に努めているとの説明がありました。

次に、民生費であります、身体障害者結婚奨励金についても実績等について説明を求めましたところ、58年度2組、59年度現在まで4組、1組1万円であるとの説明がありましたが、本制度は障害者にとって励みとなるものであり、今後増額をされるよう要望いたしましたところ、検討するとの回答がなされました。

次に、60年度新たに心身障害児通所訓練指導員報償金が計上されており、この内容について説明を求めましたところ、従前は肢体不自由児を君津まで通所させて訓練を実施してきたが59年度で廃止になる、今後引き続き訓練を要する者が11名おり、特老の訓練室を借りて理学療法士の派遣を受け訓練を実施するための予算であるとの説明がありました。

次に、社会福祉費において安房郡市広域市町村圏事務組合精薄施設費負担金が計上されております。本施設についてはその設置方を要望する趣旨の請願が昨年当議会においても採択され広域市町村圏事務組合に対し意見書を提出したところでありますが、これが内容について、さらに本市の福

祉作業所との関連について説明を求めましたところ、市町村の負担金総額 6188万4000円で、昭和60年度と61年度の2カ年継続事業で、60年度は用地の確保、用地造成、設計、61年度が主体工事、備品類の整備等を行い、50名収容する。なお、基本的に本施設については重度の精薄者、福祉作業所は軽度の者を対象としているとの説明がありました。

次に、高齢者体力づくり健康づくり事業補助金が計上されておりますが、この内容について説明を求めましたところ、健康で明るい県民づくりの一環として在宅老人とその家族の福祉増進を図るということで58年度から実施されており、58年度は菜の花体操を主体に実施し、参加者は1113名、59年度は10地区において体力テストを実施し、参加者は647名、60年度も引き続き体力テストを行っていくとの説明がありました。

次に、老人福祉センター費中、行政事務嘱託員報酬が新たに計上されておりますが、事務に影響は出ないのか説明を求めましたところ、市として業務の見直しを行っているが、その一環として老人福祉センターの職員のうち1名を行政事務嘱託員として配置するもので、担当課と協議しており、支障を来すことはないとの説明がありました。

さらに、施政方針の中で「老人福祉センターにおいて就労等の相談を行う」と表明されているが、その進め方について尋ねましたところ、就労の斡旋は労働基準法の関係で行えないが、一応相談ということで、その第1段階として、就労したい方々、また趣味の会等のグループを組織し、盛り上がりをもって何年か先に高齢者事業団をつくっていく、ここ2、3年はグループづくりを進めていきたいとの考えが示されました。

次に、青年館補修用材料費に関連して青年館の修理についてどのように考えているか説明を求めたところ、現在41館あり、原材料の交付要領は、修繕の範囲は主要部分の老朽、破損に対し20万円を超えるものについて3分の1の原材料交付、限度額30万円となっている、今後県の補助金交付規則の動向によってはコミュニティの集会施設等の整備の中で主要部分の補修を限度額20万程度として検討していきたいとの説明がありました。

次に、児童福祉費中、予備保母設置費補助金について説明を求めましたところ、私立保育園において保母の労働条件の改善、保育内容の充実を図るために定数を超えて保母を設置した場合の経費に対する補助金であり、



最近出生率の低下により保母が余る状態が出ていること等を考慮し補助しているとの説明がありました。

次に、第4款衛生費であります、正木処理場の跡地利用については、バイパスの用地代替地、都市開発の代替地等に充てたいとの考えが示されました。

次に、第6款農林水産業費であります、農道整備事業委託料に関連して、農道整備にあたっての考え方について説明を求めましたところ、年次計画に従って順次舗装を行っており、本年度は2本予定している、なお県営ほ場整備事業の中の幹線農道については、幹線A、Bとあり、幹線Aについては土地改良事務所で県営の補助事業として実施する予定で、それに準ずる幹線農道は市で整備を行っているとの説明がなされました。

次に、第7款商工費であります、館山市観光振興事業補助金については、県の補助事業として56年度から指定を受けて行っているが、60年度が最終年度になるとの説明がありました。

さらに、今後の振興事業計画について問いましたところ、来年計画している地域振興対策で総合的に考えていきたいとの考えが示されました。

次に、第8款土木費であります、住宅建設資金利子補給金の現在までの実績については、54年10月から施行されており、55年度13件、56年度14件、57年度16件、58年度17件、59年度20件と毎年少しずつ増加をしてきているとの説明がありました。

次に、道路側溝のふたについては、危険防止の上から、また車の安全な通行を図る上から、その整備を図るべきではないかとの指摘に対し、側溝のふたについては、清掃等の管理上はない方がよいけれども、交通量の多い場所、住宅の密集地、道路の狭い場所等については、側溝改修の際にふたをかけるようにしているとの説明がありました。

次に、市道の路線名については、59年度において道路台帳整備が完了するので、それに伴って市道の見直しを行い、60年度に一括廃止、一括認定を提案するが、その際路線名もわかりやすいように変更していくとの説明がなされました。

次に、都市下水路費において、60年度1億7000万円の工事請負費が計上されており、整備が図られるものと思いますが、さらに今後の計画

について説明を求めましたところ、八幡下水路については、60年度完成予定、南町排水路については、旧国道128号から現在の国道128号までは県で実施、残りの検察庁、裁判所の脇から南高の講堂を通り法性寺から入ったところまで延長150mは60年度実施し、61年度に中央保育園まで完成したい、中央排水路については現在時点では67、8年までかかる予測している、那古排水路については、バイパスの関連事業で上流部分の整備は60年度で完成する予定、楠見2号排水路については60年度と61年度予定をしている、5号幹線排水路については、60年度完成する予定であるとの説明がなされました。

次に、館山運動公園整備事業負担金が計上されておりますが、今後の整備計画並びに利用状況について説明を求めましたところ、当初59年度完成の予定であったが、計画変更があり62年度まで整備を行う予定で、今後主なものとしては体育館、遊歩道、遊戯施設等計画されている。なお、利用状況は、テニスについてはかなり利用されているが、野球場についてはシーズンオフ等の関係もあり、現在はあまり利用されていないとの説明がありました。

また、負担割合については、県が国庫補助により実施する事業は10分の2、県独自で実施する事業については10分の4であるとのことでありました。

次に、市営住宅補修工事請負費が計上されておりますが、本年度予定されている補修の内容について、合わせて住宅の建て替えについての考え方を問いましたところ、本年度は主として沼、笠名の簡易耐火構造2階建ての建具工事、防水工事、戸袋工事等の補修を計画している。なお、老朽化している大賀住宅、笠名住宅の平家建てについては入居者と十分話し合いを行い、理解を得ながら建て替えを実施し、中層耐火構造3階もしくは4階建てとして住宅数を増加していきたいとの説明がありました。

次に、第10款教育費中、館山市、富浦町及び三芳村学校給食組合分担金が計上されておりますが、米飯給食については現在週2回行われておるが、来年度から週3回になるとの説明がありました。

合わせて、給食センターの民間委託についての考え方をたしましたところ、文部省から委託に進んだらどうかとの通達はきておるけれども、労

働問題、質の問題等極めて大きな問題であり、他市の動向等見ながら十分検討していききたいとの考え方が示されました。

さらに、給食費について来年度の値上げは行わない旨答弁がありました。

次に、神余小学校の統合問題についての質疑がありました。

その中で、現在複式学級が行われており、現状では統合した方が子供たちにとってプラスになると考え、以前からの方針を進めていくが、それに関わるいろいろな問題があるので、地域の人々の納得の得られた上で話し合いを進めていききたいとの考えが示され、また住民との直接の話し合いは行っていないけれども、学校は学校の立場から神余の教育について話し合いを行い、またPTAにおいても児童数の動向等について検討しているとの説明がありました。

次に、那古幼稚園屋外環境整備工事請負費が計上されておりますが、この内容については、たくましく心豊かな幼児を育成するため、幼稚園の屋外空間を効果的に活用し、園と広場等の施設及びこれに付帯する屋外教育のための環境整備であり、59年度館山幼稚園において実施したとの説明がありました。

次に、歳入であります。景気の低迷により市税の収入見込みに不安があるが、徴収にあたっての取り組み方について、また欠損処分状況について説明を求めましたところ、徴収対策は法律に定められた方法により実施するとともに納税相談を徹底して行う、さらに強調月間を設定し、夜間、休日徴収等を行っている、なお滞納になる前の段階で口座振替制度、郵便振替制度、納税組合による納付、前納等進めており、悪質なものは差し押さえ、公売等も実施している、欠損処分については、59年9月末で1期を1件として368件、約218万円の処分を行い、3月末にも行う予定であるとの説明がありました。

次に、特別土地保有税が前年より大幅に減額されていることについて説明を求めましたところ、現在、国会で60年度の地方税法の改正が審議されているが、その中で課税免除の項目があり、昭和57年3月31日以前の取得のもので10年間払うと課税対象外とするとされており、これに該当する48社分、約4400万円程度を減額したものであるとの説明がありました。

次に、国有提供施設等所在市町村助成交付金が計上されておりますが、59年度に比較して減額されていることについて説明を求めましたところ、当市の場合自衛隊が所有する工作物、建物、土地等に係るものであるが、仮に60年度において増設がない場合に一般的に5%程度の減があるとされており、59年度決算見込みに対して5%を減じて計上した結果の減額であるとの説明がありました。

次に、普通交付税、特別交付税の積算の根拠の説明を求めましたところ、普通交付税については、地方財政計画によると総額において10.9%の増となっているが個々の団体によって大幅な違いがあり、計画では7%程度の基準財政需要額の増を見込んでいるが、当市の場合来年度において行われる大規模事業がないために事業費補整が落ちるであろうということ、また基準財政収入額においても国は相当の上昇を見込んでいるが、当市の場合法人税割の伸び等国レベルで見られず若干落としていること、また個人市民税、固定資産税の負担調整の関係があり、それらを見合わせ12億8500万円を計上した。特別交付税については、地方財政計画では10.9%の増となっているが、59年度の12月交付において4200万円あり、通常それをこえる額が3月で交付になる関係から、60年度においては5000万円を計上したとの説明がありました。

次に、ユースホステル特別会計予算であります。ユースホステルについては建設以来相当の年数が経過しており、施設修理計画等について説明を求めましたところ、59年度において寢室の改装、防火対策、ホールの防煙アコーディオンカーテンの取り替え、寢室用ロッカー、冷房工事等1577万円の改修等を行っており、60年度においては毛布の収納場所を予定しているとの説明がありました。

なお、2年ぐらい前に耐震検査を行ったが、10年間は大丈夫とのことと逐次修理をしてきているが、今後これ以上の大幅な改造は考えていないとの説明がありました。

次に、水道事業特別会計予算であります。県の補助金がなくて一般会計から繰り出しを行っている銚子市、君津市について説明を求めましたところ、銚子市の場合は、増大する水需要に対処するため東総広域水道企業団を設立している、現在受水はしていないが、供給水量の協定が結ばれ責

任水量に対する負担金を納入することになっており、その負担金の2分の1を市が補助しているということで、さらに君津市の場合は、簡易水道の統合により配水管の整備を行ったが、簡易水道は公営企業法の適用はなく、これに要した企業債の利息に対し一般会計から繰り出してきたが、59年度には県の水道総合対策事業補助金を得られたことにより、県補助金相当額を一般会計から繰り出している。両市とも企業法第17条の3の特別な理由により繰り出しているとの説明がありました。

さらに、三芳水道企業団との料金格差を解消するために、三芳水道企業団へ一般会計から繰り出しをする考えはないかただしましたところ、給水単価を市水道と同じにするためには、各町村にも負担をしてもらわなければならないが、そのことについて今回の値上げの際話をしたが積極的な同意が得られなかった、それぞれの事情がありやむを得ないと考えている、館山市で補助金を出せば間接的に他町村に強要することになり、出すべきではないと考えているとの答弁がありました。

次に、討論を行い、一般会計予算について、水道料金の改定による市民の大きな負担増を解消するため、一般会計からの繰り出しを行うべきである、また事業体が異なることによつての料金の格差を解消するための措置をとるべきであるとの反対意見がありました。

採決の結果、付託を受けました議案第1号一般会計予算、議案第7号水道事業特別会計予算につきましては賛成多数をもって、議案第2号乃至議案第6号及び議案第8号の各特別会計予算につきましては全員一致をもってそれぞれ可決すべきものと決しました。

以上、本委員会の審査の概要について御報告を申し上げましたが、市当局におかれましては今後の予算執行、行政の運営にあたっては本委員会の要望、指摘事項等十分に配慮されるとともに、ますます厳しさを増す市財政の効率的かつ機能的運営を目途とし、あらゆる英知と創意を結集されて市民の負託にこたえるよう特に要望いたしまして、予算審査特別委員会委員長報告を終わります。

○議長（石井 正君） 以上で委員長の報告を終わります。

ただいまの委員長報告について御質疑ございませんか。——御質疑なしと認めます。よつて、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

通告はありませんでした。討論はございませんか。——討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

### 採 決

◎議長（石井 正君） これより採決を行います。

採決は分割して採決いたします。

まず、議案第1号昭和60年度館山市一般会計予算について起立により採決いたします。

議案第1号についての委員長の報告は原案可決であります。

本案を委員長の報告どおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（石井 正君） 起立多数であります。よって、議案第1号昭和60年度館山市一般会計予算は原案どおり可決されました。

次いで、議案第2号国民健康保険特別会計予算について起立により採決いたします。

議案第2号についての委員長の報告は原案可決であります。

本案を委員長の報告どおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（石井 正君） 起立多数であります。よって、議案第2号国民健康保険特別会計予算は原案どおり可決されました。

次いで、議案第3号乃至議案第6号の各特別会計予算を一括して採決いたします。

議案第3号乃至議案第6号の各特別会計予算についての委員長の報告は原案可決であります。

各特別会計予算を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（石井 正君） 御異議なしと認めます。よって、議案第3号乃至議案第6号の各特別会計予算はいずれも原案どおり可決されました。

次いで、議案第7号水道事業特別会計予算について起立により採決いた

します。

議案第7号についての委員長の報告は原案可決であります。

本案を委員長の報告どおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

◎議長(石井 正君) 起立多数であります。よって、議案第7号水道事業特別会計予算は原案どおり可決されました。

次いで、議案第8号国民宿舎事業特別会計予算について採決いたします。

議案第8号についての委員長の報告は原案可決であります。

本案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(石井 正君) 御異議なしと認めます。よって、議案第8号国民宿舎事業特別会計予算は原案どおり可決されました。

#### 議案の上程

◎議長(石井 正君) 日程第8、議案第23号館山市固定資産評価審査委員会委員の選任についてを議題といたします。

議案の朗読を願います。

(書記朗読)

◎議長(石井 正君) 朗読は終わりました。

#### 議案の内容説明

◎議長(石井 正君) 議案の説明を求めます。

(市長半澤良一君登壇)

◎市長(半澤良一君) 議案第23号館山市固定資産評価審査委員会委員の選任について提案理由の説明を申し上げます。

館山市固定資産評価審査委員会委員中、伊藤輝夫君が昭和60年3月31日をもって任期が満了いたしますので、後任といたしまして伊藤昌彦君を適任と信じますので、御賛同賜りますようお願い申し上げます。

◎議長(石井 正君) 説明は終わりました。

御質疑を願います。

御質疑ございませんか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終

結いたします。

#### 委員会付託の省略

◎議長（石井 正君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託並びに討論省略、直ちに採決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（石井 正君） 御異議なしと認めます。

#### 採 決

◎議長（石井 正君） よって、これより採決いたします。

固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件は、これに同意することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（石井 正君） 御異議なしと認めます。よって、本件はこれに同意することに決しました。

#### 館山市選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙

◎議長（石井 正君） 日程第9、館山市選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙を行います。

#### 動 議

◎24番（流山源次郎君） 議事進行について動議を提出いたします。

館山市選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙につきましては、2月27日開催の全員協議会におきまして、その選考方を総務委員会に一任してありますので、選挙の方法は地方自治法第118条第2項の規定による指名推薦をもって行い、指名者は総務委員会委員長において指名していただきたいと思ひます。ここに議事進行の動議を提出いたします。

満場の御賛同を賜りますようお願い申し上げます。

（「賛成」と呼ぶ者あり）

◎議長（石井 正君） ただいまの24番議員君の動議を議題といたします。



本動議は、選挙管理委員及び同補充員の選挙の方法は指名推選とし、総務委員会委員長の指名によるということであります。

お諮りいたします。本動議のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(石井 正君) 御異議なしと認めます。よって、本動議は可決されました。

これより総務委員会委員長の指名を求めます。

(総務委員会委員長横溝 功君登壇)

◎総務委員会委員長(横溝 功君) 館山市選挙管理委員会委員、同補充員の選挙につきまして、総務委員会を代表いたしまして指名申し上げます。

去る2月27日開催の全員協議会におきまして、後任の選挙管理委員会委員、同補充員の選考方につきまして本委員会に一任されましたので、慎重に選考いたしました結果、お手元に配付の指名表のとおり、委員に宮澤茂氏、加藤 利氏、二村俊夫氏、小田 恒氏を、補充員に熊切武俊氏、平嶋 茂氏、和久 博氏、金子光男氏をそれぞれ最適任者と認め推薦することに決定いたしました。

なお、補充員の補充の順序は、第1順位熊切氏、第2順位平嶋氏、第3順位和久氏、第4順位金子氏といたしたいと存じます。

以上のとおり指名申し上げます。

満場の御賛同を賜りますようお願い申し上げます。

◎議長(石井 正君) ただいまの総務委員会委員長において指名いたしましたとおり、これらの方々を館山市選挙管理委員会委員、同補充員の当選人と定めますことに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(石井 正君) 御異議なしと認めます。よって、選挙管理委員会委員に宮澤茂氏、加藤 利氏、二村俊夫氏、小田 恒氏、同補充員に熊切武俊氏、平嶋 茂氏、和久 博氏、金子光男氏がそれぞれ当選されました。

閉 会 午前11時40分

◎議長(石井 正君) 以上で本定例会に付議されました議案はすべて議了いたしました。

よって、これにて第1回市議会定例会を閉会いたします。

◎本日の会議に付した事件

- 1 議案第1号乃至議案第8号、議案第10号乃至議案第23号
- 1 請願第7号、陳情第3号、請願第1号、請願第3号、
- 1 継続審査について（請願第2号）
- 1 館山市選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

館山市議会議長      石                  井                  正

館山市議会副議長                  渡                  辺                  昭                  夫  
館山市議会議員

館山市議会議員      飯                  田                  義                  男

